



ヨコハマ市民まち普請事業

第一次整備提案書

※ 記入上の注意

- ① 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ② 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③ 位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。

整備提案名 (25字以内)	地域コミュニティ拠点コワーキングカフェの整備
提案グループ名 (25字以内)	子育てママ支援warm place
グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績	子育て世代の社会問題である虐待・不登校などが鶴見区は市内ワーストワンである。原因の一つと考えられる孤立した子育てを0にするために、未就学児のママが子連れで参加できる習い事形式のコミュニティを運営。地域密着型の親子イベントの開催。発達障害の子育てをしているママピアカウンセリングの運営。2014年4月より活動を開始し、大小合わせてイベント開催は年間約400回、参加人数は8000人となる。発達障害の子育てをしているママの情報交換会は、男女共同参画センター横浜南の自助グループ事業として、毎月1回茶話会を開催。
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	鶴見区 鶴見中央5丁目 ※位置図及び現況写真（各A4判1ページ）を添付してください。
整備提案の内容 (どのような整備を提案するのか文章で記入してください)	託児・子育て用事業向けにつくられた戸建て物件を借り、以下の整備を行う。 年間契約できる託児付のワーキングスペース（シェアオフィス） 食関係のワークショップ・カフェとして使用できるオープンキッチン 外部貸出出来るミーティングルーム おむつ替えスペース 授乳スペース キッズスペース 整備費用の概算額：約368万円 ※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。（記入上の注意③）
整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在、企業の好意により、2箇所店舗の一角を間借りして母親を対象とした習い事のワークショップ等を月間約40回開催している。 ● 年間8000人も多くの人が関わるようになり、今の場所では手狭になってきた。 ● ワークショップの講師には、母親たちが特技を生かして参加しているが、自宅の住所を公開できない等、拠点が無いことが活動の制約となっている。 ● 孤立しがちな子育て中の母親が、地域とつながり、地域の役に立つことが実感できる場であるとともに、一日中子どもと2人きりの閉そくされた状況から解放され、気分転換ができる場が多くの人に必要とされている。 ● 現在の活動を継続し、より地域に開かれた活動に発展させていくため、個人単位で活動する母親たちの活動拠点としての事務局機能とワーキングスペース、託児機能を併せ持つ施設の整備が必要となっている。

<p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 未就学児のママが一人でも立ち寄りやすい場をつくり、孤立した育児環境を改善する ● 子どもの発達に不安があるママへ専門家とはまた違う経験者ママからのアプローチで、孤立した育児を減少させる。 ● 核家族化で子育て世代とシルバー世代の交流が少ないため、どの世代でも参加できる食やクラフトのイベントで交流をし、若い世代と自治会のつながりをつくる。 ● 保育園に預けたいが預けられない潜在待機児童のいる子育て世代、またすでにフリーランスで自宅を拠点として働いている子育て世代が、この拠点整備により働きながら子どもを見守れる環境を整える。
<p>整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 清掃・メンテナンス・運営するスタッフなどはスタート時は提案グループがあたる。 ● 地域住民には整備拠点へ足を運んで行われている活動への参加をまず促し、賛同者が運営スタッフへ移行するように促す。 ● 施設、その周辺の清掃活動は運営スタッフのほか、地域住民ボランティアを募り、交流しながらまちをきれいにする活動を定期的に行う。
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源 注4) ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 待機児童問題に対し、働く場所と子育ての場所の境目のない空間を作り、行政だけではできない時代のニーズをとらえた整備だと考えます。 ● この物件は、もともと子育て世代やシルバー世代が交流や託児などに利用出来ればと考えて設計されたもので活動に大変理解があります。 ● 設備をすでに使いたいと表明している人、地域の皆様と一緒に可能な内装や設営など準備段階から一緒に行うことで、自分たちの拠点という意識共有が可能です。 ● 提案グループがすでに持っている子育て世代の地域ネットワークが約2000名あり、必要としている人へダイレクトにPRすることが可能です。 ● 提案グループが現行で行っている地域活動へ参加してくれる人年間のべ8000人へのアプローチをすることが出来ます。 ● 子育てイベントを常開催しているグループの強みを最大限に生かし、チャリティバザーなどで資金を集めることが出来そう。 ● 企業の集客イベント協力依頼を有償で請ける実績が多くあり、資金を集める手段の一つとして活用できる。

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

- | | | |
|---------|--------------------------|------------------------|
| ○「ヒト」の例 | ● 地域のPTAから協力を受けられそう。 | ● 地域に設計の専門家がいる。 |
| ○「モノ」の例 | ● 整備に必要な材料を安く入手できそう。 | ● 整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ● 自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ● バザーなどで資金を集められそう。 |

整備場所の地権者等 ^{注5)} への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
有限会社リアルエステート・ツクダ	提案内容のような事業に使えればと元々考え作った物件である。子どもが騒いでも大丈夫なように、通常より床防音を施してある。福祉活動なども行ってきたので、今後情報交換していきたい。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報含まれていません。

地域まちづくり推進条例・街づくり協議地区 等

表示されている地図情報の最終更新日
平成28年4月1日



この地図の著作権は横浜市が保有します。平成28年4月1日

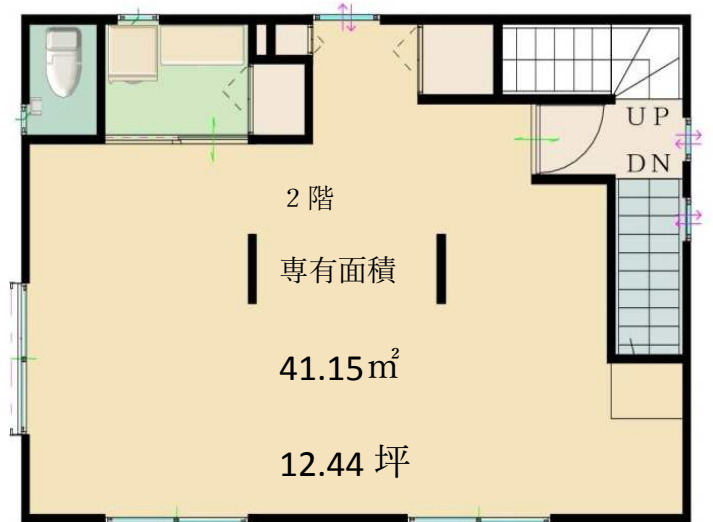
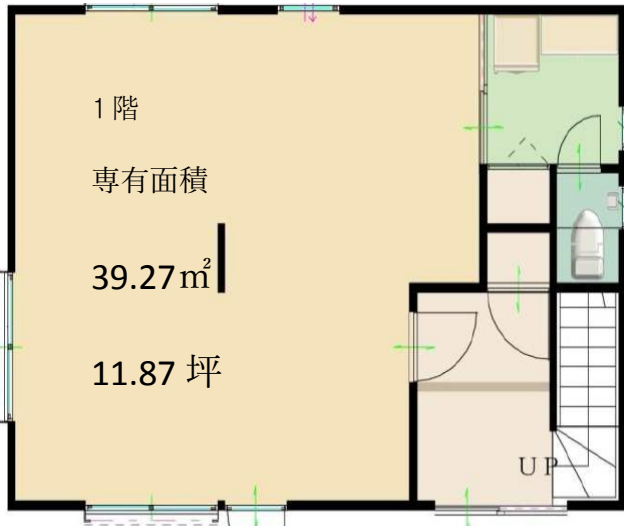
<p>〈凡例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 街づくり協議地区等の区域 地域まちづくりプランの区域 地域まちづくりルールの区域 都市計画マスタープラン(地区プラン)の区域 	
---	--

注意：
この図は地域街づくり推進条例等の法定図面ではありませんので、公に証明する資料として利用することはできません。参考図としてご利用下さい。
横浜市 行政地図情報提供システム ご利用日時:[2016/06/03 15:04:52] Copyright (C)2016 City of Yokohama. All rights reserved.

候補物件について

横浜市鶴見区鶴見中央 5 丁目

JR 鶴見駅徒歩 4 分 京急鶴見駅徒歩 3 分 子育て支援施設を想定して建築された戸建て 3 階建て事務所の 1 階、2 階部分。
隣に高齢者デイサービス、徒歩 3 分圏内に保育園が 2 つなど、地域との連携が想定できる静かな環境で最適である。



1 階

オープンキッチン、キッズスペースを兼ねたカフェスペース

2 階

シェアオフィス・ミーティングルームを設置。